

令和4年度『学校評価』アンケートの結果について

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。さて、昨年11月に実施いたしました『学校評価アンケート』の集約結果をご報告いたします。ご協力いただいたアンケートからみえてきた、成果と課題、今後の方向性について、各学部で分析を行いました。結果を真摯に受けとめ、次年度へ向けて、できるところからはじめていきたいと考えております。

《保護者のアンケートから》

幼稚部

【成果と課題】

- ・幼稚部の活動に対する理解は得られていると感じる。
- ・課題としては、それぞれの家庭のニーズ、願いにどこまで近づくことができるか、子どもひとりひとりの特性に応じた教育をどう進められるかを、今後も考えていくことである。

【今後の方向性】

- ・保護者のニーズや願い、悩みに寄り添うために、学部内で共有し、学部としてできることを考え、実践していく。
- ・毎日下校後に振り返りを行い、子どもの様子、保護者からの情報等を共有し、翌日の指導に活かしていく。
- ・ひとりひとりの短期、中長期的な目標をもとに成果や課題を明らかにすることで、担任でなくても子どもの特性に応じた指導ができるようにしていきたい。

小学部

【成果と課題】

- ・小学部の活動について概ね理解は得られていると感じる。
- ・災害に対する取り組みの伝達、校舎内外の清掃や整頓、支援に関する講演会やイベント等の情報発信、保護者対応に関しては少数ながら課題があるという結果になった。

【今後の方向性】

- ・災害に対する取り組みや支援に関する情報について、学校全体で発信方法を考えていく。
- ・面談や各通信などで学部や個々の活動の様子を発信し、教育活動について理解を得られるようにする。
- ・今後も個に応じたねらいを持ち、授業・教材の工夫、授業実践に努める。
- ・保護者との対話、連携を大切に、学部内での情報共有、コミュニケーションを図りながら指導に努める。

中・高等部

【成果と課題】

- ・コロナ禍への対応含め、健康管理や災害に対する取り組みについては、高い評価を得ることができた。
- ・学習環境についても、およそ満足との回答が得られた。
- ・言葉使いについては、環境が大きく影響することでもあり、学校と家庭とで意識している結果となった。
- ・一対一での学習や活動場面が多いという利点から、個に応じた指導や支援を行っているという回答が多いが、授業内容や評価に関する満足度は高いとはいえなかった。
- ・進路についての情報提供や連絡、保護者の悩み相談への対応にも課題がみられた。

【今後の方向性】

- ・ひとりひとりが結果を受け止め、個々に授業の工夫、教材研究に努め、また、校内研究を活かして学部としても授業力を高めていく。
- ・評価については、学部内での共通理解、確認をしたうえで誰でもが保護者にきちんと説明できるようにする。
- ・進路については、生徒の特性や保護者のニーズは何かを把握すること、保護者との連携については、担任ひとりで抱え込まずに学部内に相談、SCにつなげるなど速やかに対応をしていきたい。

《児童・生徒のアンケートから》

小学部

【成果と課題】

- ・ほとんどの項目において「そう思う」が多く、学校生活や学校行事を楽しく感じ、得意なことや好きなことが増えたと感じる児童が多い。学校教育目標である、「子どもたちが主体的に学び、楽しいと感じられるような学校にする」ことに近づいていると感じた。
- ・人に対するやさしい言葉づかい、災害や危険な時の行動について、は少数であるが課題が見られた。

【今後の方向性】

- ・言葉づかいが適切でない場合は、その都度声かけをしていく。
- ・災害に対する取り組みについては、〇〇の日、など関連付けて朝の会の先生の話の中で取り入れていくことで児童にも浸透していくのではないかと考える。
- ・子ども達の気持ちに寄り添いながら個に応じた適切な指導に努める。

中・高等部

【成果と課題】

- ・学校として教えるべき、命の大切さや社会のルール、基本的な生活習慣については生徒にもおおむね伝わっているという点では評価できる。また、施設設備についてもある程度安心して学習できている様子である。
- ・授業のわかりやすさ、教員の話聞く姿勢については、一対一になる機会が多いという環境もあり、おおむね満足は得られているものの、そうではないという生徒がいるのも事実である。学校生活について、半数近くが楽しくないという結果になったことを真摯に受け止める必要がある。

【今後の方向性】

- ・思春期を向かえ、悩み多き年頃である。一対一という利点を活かして、いつもと違う表情や態度がみられた時には、声をかける、保護者にそれとなく聞いてみる、などの細やかな対応を今まで以上に意識して心がけたい。
- ・少人数であり、ひとりの生徒に多くの教員が関わることを利点ととらえ、ひとりひとりが意欲がわくような評価をすることを心がけ、また、日々の情報共有、問題の意識化に努めたい。
- ・掃除や委員会などの仕事に関する姿勢は、まず教員が手本を示す気持ちで取り組みたい。

今年度も多くのご意見をいただき、ありがとうございました。

開かれた学校教育のもと、学校運営協議会委員の皆様にも学校評価の結果をご覧いただいています。皆様が学校生活全般に高い意識と関心をもち、本校の教育活動を肯定的に受け止めてくださっていることが、幼児児童生徒の意欲や様々な能力の向上に確実に繋がっていることに感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。